**45　生活習慣や健康に関する統計**

**問題１**

国民健康・栄養調査については168ページ、衛生行政報告例については174ページ、国民生活基礎調査については162ページ、地域保健・健康増進事業報告については172ページ、感染症発生動向調査については171ページに記載してある。

1. がん検診受診者数は、国民生活基礎調査、地域保健・健康増進事業報告などで把握される。
2. 人工妊娠中絶件数は、衛生行政報告例の内容である。
3. 児童虐待相談件数は、福祉行政報告例の内容である。
4. HIV/エイズの相談件数は、地域保健・健康増進事業報告の内容である。
5. サルモネラ菌による食中毒患者数は、食中毒統計調査に含まれている。

**解答**　２，4

**問題2**

国民健康・栄養調査では、糖尿病に関する状況なども含まれている(168ページ～参照)。調査をもとに推計値が出されている。（以下の解説は2016年の統計）

1. 糖尿病が強く疑われる者（ヘモグロビンA1c(NGSP)の値が6.5%以上、または糖尿病治療の有無に有と回答した者）は約1,000万人と推計されている。
2. 40歳以上で糖尿病が強く疑われる者の割合は，女性よりも男性が高い。
3. 糖尿病が強く疑われる者のうち，糖尿病治療を受けている者の割合は男性で78.7%、女性で74.1%である。
4. 30歳以上で糖尿病が強く疑われる者の割合は，女性では年齢が高い方が高くなる。

新しいデータについては、国民衛生の動向などで確認しておくこと。

**解答**　1

**問題３**

感染症発生動向調査については171ページに記載してあるが、感染症の発生動向については国民衛生の動向などを参照すること。（以下の解説は2006年～2017年の感染症発生動向について）

1. 先天性風しん症候群は報告されている。

2. 2017年における麻疹の年間報告数は、186人（全年齢）である。

3. 梅毒の報告数は増加している。

4. 結核の登録患者数は減少している。

5. 1類感染症の届け出はない

**解答**　5

**問題4**

生活習慣に関する全国的な統計は，国民衛生の動向や，厚生労働省のウェブサイトなどでデータを参照・ダウンロード可能である。

グラフ作成例は、26ページ～、168～171ページに示した。Excelを用いてデータをグラフ化し、特徴を把握してみよう。